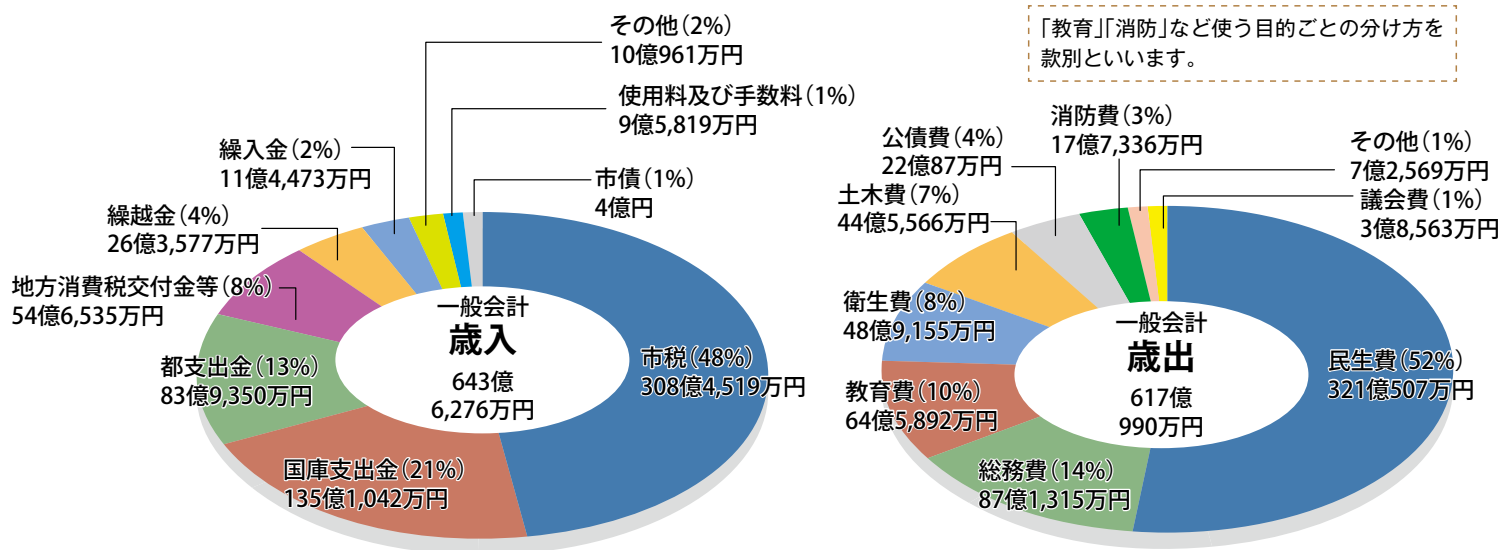


令和5年度 決算を認定

令和5年度に多摩市がお金を使った結果(決算)について、議長を除く全議員で構成する予算決算特別委員会において審査し、本会議で認定しました。

令和5年度一般会計決算 款別構成グラフ



※()内の比率は端数調整しています

令和5年度 各会計別決算額

区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	643億6,276万円	617億990万円	26億5,286万円
特別会計			
国民健康保険	155億5,984万円	154億2,633万円	1億3,351万円
介護保険	133億2,088万円	128億8,465万円	4億3,623万円
後期高齢者医療	47億8,736万円	47億2,694万円	6,042万円
合計	980億3,084万円	947億4,782万円	32億8,302万円

区分	決算額
下水道事業会計	収益的収支
	収入
	34億2,631万円
	支出
	29億7,037万円
資本的収支	収入
	1億2,158万円
資本的収支	支出
	3億5,391万円

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

決算審査 こんなことが話題になりました

ブランドビジョンの積極的な活用を

総務費 シティセールス推進事業

本市では、令和3年度から「くらしに、いつもNEWを。」というブランドビジョンを定めており、シティセールスの担当所管の秘書広報課では活用しているが、他の部署で活用が少ないため、市外の方が多く集まるイベントなどで積極的に活用すべきだと指摘がありました。

秘書広報課では、暮らしやすさや未来に向け挑戦するポジティブな街の姿、これまでに培った街の財産を生かすことで新たに生まれてくるものをコンセプトとして多摩暮らしさを市内外の方に伝えていくことを継続し、また、他の部署においても活用しやすいように各課と相談しながら進めていくと答弁がありました。

市民の「外出」を守る取組みを

総務費 地域密着型交通運行事業

東西線のルートに関する質疑があり、中央図書館開館にとまなう変更の経緯と内容についての説明がありました。その際に発生した補助金、多額の市税の投入により事業が成り立っている事実をふまえ、高齢化が進む社会では市民からルート拡大、増便等の要望が高いことに関する質疑がなされました。

運転手不足の現状では、ミニバス事業の今後に対する不安も大きく、市民の移動の権利を保障するためにあらゆる手立てを講じてほしいという要望がありました。また、予算額と決算額の差に関する質疑もあり、ドライバー不足による見込み不透明な状況が背景にあることがわかりました。